

森のニュース 1

『平成24年度治山林道施策と予算について』

はじめに

神奈川県森林協会会員の皆様には、日ごろから神奈川県の森林・林業行政の推進に多大なるご支援、ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、県の平成24年度予算は、厳しい財政状況の中、県民生活に配慮すべき施策、政策的に継続性を重視する事業、国の経済対策に対応した事業等、現下の経済・雇用情勢や喫緊の課題を踏まえた対応となっています。

また、国の公共事業については、その多くで、これまでの各省庁所管の補助金から、内閣府がとりまとめる地域自主戦略交付金へ財源移行が進んでおり、治山・林道事業も同様な状況となっております。

平成24年度治山・林道事業予算について

こうした状況のなか、平成24年度治山・林道事業の県予算は、総額2.4億円、対前年比120%が配分され、治山費が1.2億6千4百万円、林道費が1.1億3千6百万円と、それぞれ前年対比117%、124%となっています。



浅瀬治山工事（山北町世附地内）

治山事業

このうち治山費においては、治山事業（公共）が1.0億5千8百万円、治山事業（単独）が2億6百万円配分され、県下61箇所では治山対策を実施する計画としております。

主な新規箇所としては、山北町中川（細川沢）、同町世附（ダムノ上）、松田町寄（福寿沢）において、平成22年台風9号や平成23年台風6号により被災した溪流で、治山ダム工等の復旧対策を行います。

また継続箇所として、箱根町元箱根（蛇骨川上流）では、平成17年に発生した駒ヶ岳東斜面の地すべり災害の源頭部で長さ30m内外のアンカーで不安定斜面を固定する対策や治山ダム工等を実施し、相模原市緑区根小屋（明日原）においては、山腹工を実施し、被災森林の早期復旧に取り組みます。



蛇骨沢上流治山工事（箱根町元箱根地内）

林道事業

林道費については、林道開設等の公共事業が7億7千1百万円、林道改良等の単独費が3億6千5百万円配分され、開設3路線、改良17路線で事業を実施する計画としております。

重点事業として、山北町玄倉の県営林道玄倉線で法面保全を中心とした改良工事に取り組むほか、湯河原町の白銀線、清川村の唐沢線等において、法面保護工や落石防護施設工などの林道改良を計画的に取り組めます。



玄倉林道改良工事 [2号隧道付替] (山北町玄倉地内)

林道開設事業としては、南足柄市矢倉沢の松山線、山北町皆瀬川の八丁神縄線、箱根町宮城野の宮城野線において、地域の森林整備を推進するために新設に取り組めます。



八丁神縄林道開設工事 [熊山工区] (山北町皆瀬川地内)

なお、公共事業については、当県への国の補助金や交付金の配当状況によって、当初予算とは異なる執行になる場合があります。

災害対応

平成22年台風9号、平成23年台風6号・12号・15号と、2箇年続けて当県は台風の

直撃を受け、県西部地域を中心に森林や林道で多くの被災がありました。

これらの復旧については、林道事業・治山事業ともに国の災害補助制度を活用して実施しておりますが、この2年間は被災規模が大きく、県の補正予算を組む必要があり、復旧工事の着手に時間がかかる要因となっていました。

そこで、迅速な復旧対応を図るため、今年度の災害復旧費(公共)は、例年の3倍を超える1億7千万円を措置しました。

今年度は、災害が起こらないことを願っておりますが、万一発生した場合は、皆様と連携し、林道の通行機能の復旧、荒廃林地の復旧など、被災地森林・林業のインフラである治山・林道施設を復旧してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

おわりに

国では昨年度から、木材自給率50%をも目指す森林・林業再生プランの実現に向けた諸施策をスタートさせ、本県においても地域の実情に応じた林業再生の取組を進めているところです。

これら施策推進のためには、森林を保全する治山事業、生産基盤整備である林道事業が、しっかりと支えていなければなりません。

近年の国・県の厳しい財政状況により、治山・林道事業は縮小傾向で推移していますが、少ない予算の中でも、緊急度、優先度を勘案し、必要な箇所を適切に実施してまいります。

今後とも会員の皆様には、治山・林道事業の着実な推進にご支援賜りますようお願い申し上げます。

(環境農政局 水・緑部 森林再生課 基盤整備グループ)